

**「インパクト投資とグローバルヘルス」に係る研究会
第一回研究会：補助資料**

EY新日本有限責任監査法人

補助資料の目次

	内容	ページ
1	研究会の概要と本日のアジェンダ（2022年9月5日時点案）	p.3-5
2	アジェンダ 1 .研究会の最終成果物イメージについて	p.6-11
3	アジェンダ2.インパクト投資の現状・課題及び本研究会で対象とする製品・サービスについて	p.12-16

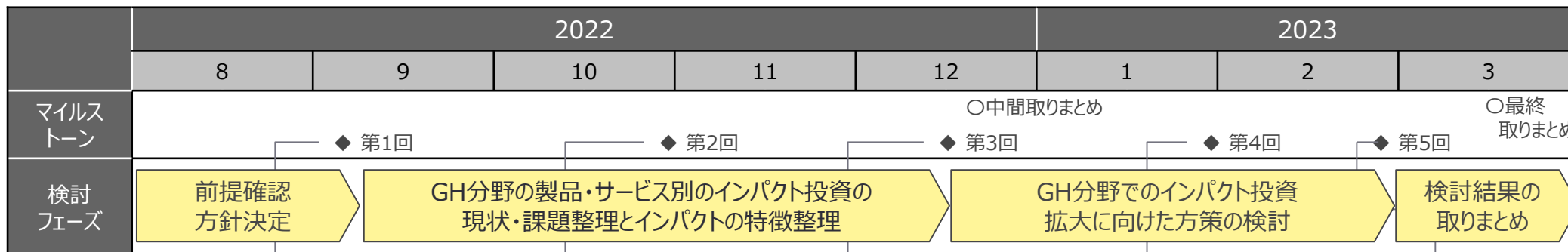


1. 研究会の概要と本日のアジェンダ（2022年9月5日時点案）

1. 研究会の概要と本日のアジェンダ

研究会は全5回の開催を予定しており、第1回～3回の討議結果をもとに中間取りまとめを行い、残りの2回の検討結果を以て最終取りまとめを行うことを想定している。

目的	<ul style="list-style-type: none"> 日本開催の2023年G7に向け、民間のGH分野への投資拡大を促す取組として紹介できるような成果を出す。 	想定成果物	<ul style="list-style-type: none"> GH分野におけるインパクト投資の拡大に向けた方策案 GH分野におけるインパクトの測定・可視化に適した方法とそれを実現するための支援策案
----	---	-------	--



回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
アジェンダ	<ul style="list-style-type: none"> インパクト投資の現状・課題と対象製品・サービス 研究会の最終成果物 	<ul style="list-style-type: none"> 製品・サービス別のインパクト投資の現状・課題、インパクトの特徴(1) 	<ul style="list-style-type: none"> 製品・サービス別のインパクト投資の現状・課題、インパクトの特徴(2) 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野のインパクト測定・可視化に係る方策と課題 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野におけるインパクト投資拡大に向けた方策
想定成果物	<ul style="list-style-type: none"> インパクト投資を取り巻く現状・課題のまとめ(GH分野仮説含む) 本研究会で検討対象とする製品・サービス G7に向けた成果物イメージ 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回で検討対象となった製品・サービスについて以下の事項を整理する。 <ul style="list-style-type: none"> インパクト投資を呼び込むための課題 事業におけるインパクトの発現方法(ロジックモデル等) 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回で検討対象となった製品・サービスについて以下の事項を整理する。 <ul style="list-style-type: none"> インパクト投資を呼び込むための課題 事業におけるインパクトの発現方法(ロジックモデル等) 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野の製品・サービス毎のインパクト測定・可視化に適した方法 事業者の規模や状況に応じたインパクト測定・可視化に向けた支援策 インパクト加重会計の観点からの評価 	<ul style="list-style-type: none"> 投資家・事業者のそれぞれがインパクト投資・事業を活発に行うために政府が採るべき施策案 上記施策案の実行・成果の実現に向けたロードマップ

本日

1. 研究会の概要と本日のアジェンダ

本日は、初めに最終成果物に関する意見交換を行いゴールイメージを共有した上で、インパクト投資の現状・課題や今後の検討対象とする製品・サービスの選定に関する討議・意見交換を行う。

第1回目の目的			
アジェンダ	論点	成果物	
1	<p>本研究会の最終成果物イメージに関する意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 本研究会の最終成果物のイメージに関する意見交換を行う ✓ インパクト投資の現状・課題に関する共通認識を醸成する ✓ 本研究会の検討対象とするGH分野における製品・サービスを絞り込む 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 研究会の最終成果物に関する共通見解（形式・内容面） 	
2	<p>インパクト投資の現状と課題に関する意見交換及び 本研究会で対象とする製品・サービスの選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 研究会の最終成果物について <ul style="list-style-type: none"> • G7に向けた成果物作成を見据えた際に、形式面・内容面でどのような成果物が望ましいか ■ インパクト投資の現状・課題について <ul style="list-style-type: none"> • 各委員の立場から重要だと思われる課題は何か • 世界と比べて日本に特有のインパクト投資の課題は何か • GH分野に特有のインパクト投資の課題は何か ■ 本研究会で対象とする製品・サービスについて <ul style="list-style-type: none"> • インパクトが出やすい製品・サービスは何か • インパクトが評価・測定しやすい製品・サービスは何か • 日本企業の強みが発揮されやすい製品・サービスは何か 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各委員の立場・知見に基づくインパクト投資の現状・課題 ➤ 本研究会で対象とする製品・サービス（2～3程度の抽出を想定） 	



2. アジェンダ. 研究会の最終成果物イメージについて

本事業での最終成果物は①～④を予定している。研究会では主に③④に関して議論を行い、議論の過程で得られた知見や示唆を適宜①②の成果物に反映させることを想定している。

①インパクト投資の現状・課題

- ✓ 日米欧のインパクト投資を取り巻く事業者・投資家・政府関連機関の直面する現状・課題を体系的に理解でき、鳥瞰できるように整理する。



②GH分野のインパクト投資 好事例集

- ✓ GH分野におけるインパクト投資の好事例は、いかなる点で普及に値する事例なのかをインパクト会計の観点も可能な限り含めて整理する。



成果物

③GH分野のインパクト測定・可視化に適した方策

- ✓ 既存のフレームワークの特徴を踏まえた上で、製品・サービスの種類や事業者の規模を考慮したインパクト測定・可視化の方策を提案する。



④GH分野のインパクト投資拡大方策

- ✓ 調査の過程で得られた事例、先行研究、有識者からの意見・見解を統合してインパクト投資拡大に必要な方策を網羅的に検討・提案する。



本研究会で中心的に議論する内容

本研究会の最終成果物として、1.インパクト投資の理解を促進する基礎資料、2.課題解決のための方策案、3.方策案を実現させるための活動方針案を想定しており、G7に向けた成果という観点からご意見を伺いたい。

論点

- G7に向けた成果物として、形式面・内容面でどのような成果物が考え得るか。
(日本国内の取組に閉じず、海外研究機関等との連携も視野に中身の検討を行うのも一考)

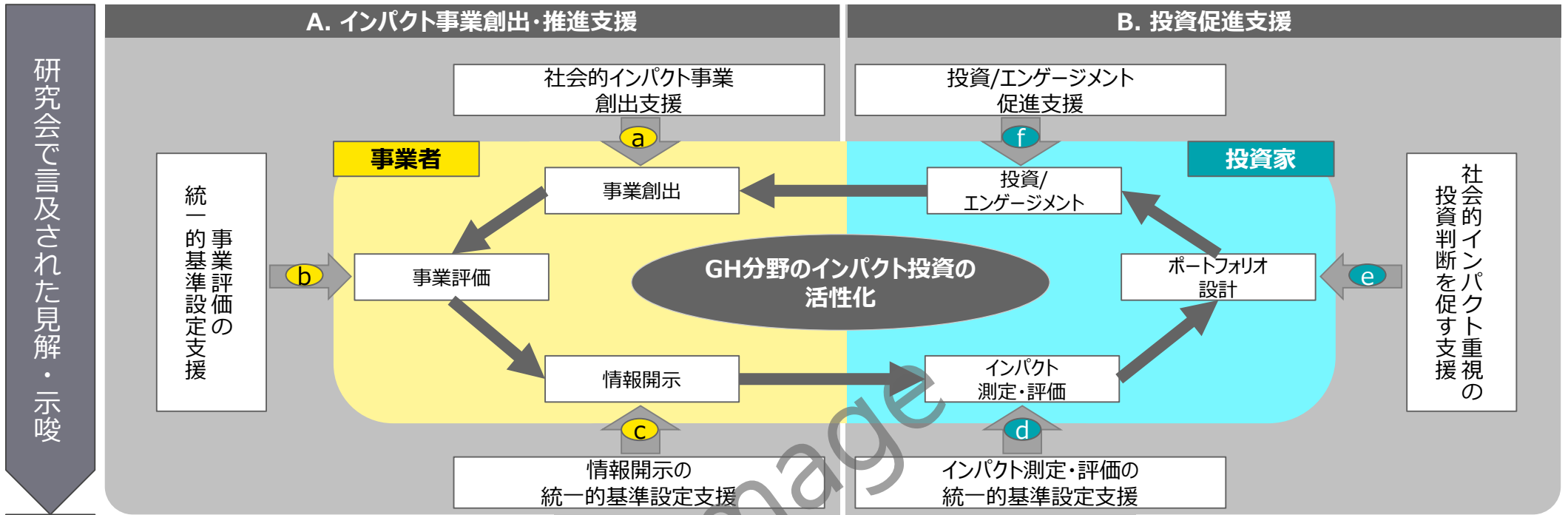
	成果物	取りまとめの基本方針	取りまとめの時期
1	①② インパクト投資の理解を促進する基礎資料	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事務局側の調査結果をベースに、研究会での示唆を加味して事務局が取りまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 中間取りまとめ段階で概ね完成 • 必要に応じて最終取りまとめで更新
2	③ 課題解決のための方策案 (インパクトの測定・可視化に適した方策を中心に)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第2・3回研究会： 個別の製品・サービス毎のインパクト投資の現状や特有のインパクトの発現方法等を検討する中で、課題を抽出して解決に向けた“打ち手”を検討 ■ 第4・5回研究会： これまでの研究会で導出された“打ち手”を基に、課題解決に向けた統合的な方策案を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 中間取りまとめ段階で素案を提示 • 第4・5回研究会にて本格的に検討して最終化
3	④ 方策案を実現させるための活動方針案	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第4・5回研究会： 方策案実現に関係するステークホルダーを一覧化し、各ステークホルダーの果たすべき役割を整理した上で、時間軸を設定して工程を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 中間取りまとめ時点では成果物なし • 第4・5回研究会にて本格的に検討して最終化

本研究会で中心的に議論する内容

次頁から各成果物のイメージ

【成果物イメージ①】 インパクト投資の理解促進を図る基礎資料

グローバルヘルス分野のインパクト投資を取り巻く現状・課題



研究会で言及された見解・示唆

事務局が取り纏め
報告書等で

	a. 事業創出	b. 事業評価	c. 情報開示	d. インパクト測定・評価	e. ポートフォリオ設計	f. 投資/エンゲージメント
課題
打ち手
好事例	事例A	事例B	事例C	事例D	事例E	事例F

【成果物イメージ②】 グローバルヘルス分野におけるインパクト投資拡大の方策案

		第2・3回研究会		第4・5回研究会						
		課題（例）	施策・打ち手（案）	+	考慮事項	=	方策（案）			
a	事業創出	<ul style="list-style-type: none"> 社会的インパクトのある事業創出を行える人材が不足している 事業構想段階でのインパクトの観点の欠落 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野の新規事業担当者向けの研修プログラムの策定・提供 GH分野のインパクト事業構想のガイドラインの作成・配布 	<p>他分野の好事例 (実施事項(3)-(ア)で整理)</p>	<p>ユ ト</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大企業向けの研修プログラム（インパクト関連の統合報告書記載） 中小企業向けのインパクト測定・評価伴走支援 				
b	事業評価	<ul style="list-style-type: none"> 社内に社会的インパクト事業の効果进行评估できる体制が整備されていない 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野におけるインパクト事業の認証を進め、対内的にも評価しやすい環境の醸成 							
c	情報開示	<ul style="list-style-type: none"> 開示すべき情報項目が分からない 開示すべき情報を収集・取得するためのコストが高い 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野の製品・サービス毎の必要な開示項目の設定・普及活動 情報粒度別のインパクト測定・評価手法の提示・普及活動 				<p>モ ノ</p>	<ul style="list-style-type: none"> インパクト事業を実施している企業に対する認証制度の整備（表彰含む） 		
d	インパクト測定・評価	<ul style="list-style-type: none"> GH分野の効果的なインパクト測定・評価方法が不明 既存フレームワークで測定・評価したインパクトの恣意性が避けられない 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野の製品・サービス毎の効果的なインパクト測定・評価方法の提示・普及活動 							
e	ポートフォリオ設計	<ul style="list-style-type: none"> インパクト投資を行うインセンティブ/メリットが少ない 出資者への説明責任問題への対処方法が確立できていない 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野のインパクト投資家間でのピア・プレッシャー設計 インパクト投資の背景・目的に関する普及・啓発活動 						<p>カ ネ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 官民連携のインパクト投資ファンドの設立
f	投資/エンゲージメント	<ul style="list-style-type: none"> 名ばかりインパクト投資（インパクトウォッシュ）が発生している GH事業の社会的インパクト創出に向けた事業者とのコミュニケーションが取れる人材が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> GH分野のインパクト投資家を養成するためのプログラムの策定・提供 インパクト・エンゲージメントに関するガイドラインの作成・普及活動 							
				<p>有識者委員からの意見・補足情報 (実施事項(2)で整理)</p>	<p>情 報</p>	<ul style="list-style-type: none"> インパクト測定・評価方法のGH分野版のガイドライン作成・普及 				

【成果物イメージ③】

グローバルヘルス分野におけるインパクト投資拡大の方策案を実現させるための活動方針案

施策案を実現するために時間軸を設定して、各ステークホルダーがすべき活動を整理することを想定

検討フェーズ

GH分野のインパクト測定・評価手法の検討・整理
(~2022年度末予定)

- ▶ GH分野に特有のインパクト発現の仕方を分析・検討
- ▶ GH分野に適したインパクト測定・評価の方法を導出
- ▶ GH分野のインパクト投資拡大に向けた方策を検討

普及・浸透フェーズ

ヘルスケア分野のインパクト測定・評価の実績作り
(~2023年度末予定)

- ▶ 政府は、検討フェーズにて導出したインパクト測定・評価手法の普及に向けた啓発活動を行う
- ▶ ヘルスケア事業者は、インパクト測定・可視化に必要な情報を社会的インパクトを開示する
- ▶ 投資家は、ヘルスケア事業者の開示情報に基づき、インパクト投資を行う

日本企業の新興国市場のヘルスケア分野の社会課題解決でのインパクト投資実績の蓄積 (~2025年度末)

- ▶ アフリカ等の新興国市場の社会課題解決に資する事業を展開する企業に対するインパクト投資の実績を作る。
- ▶ グローバルスタンダードとなる実績を諸外国へ示す。

実現フェーズ

UHCの実現に向けたインパクト投資の好循環実現
(~2030年度頃)

- ▶ 新興国市場に進出する日本企業の事業を中長期的に支援するファンドや投資家が、GH分野のインパクト測定・評価を用いて投資を実施。

本件調査

STEP 1

STEP 2

GOAL

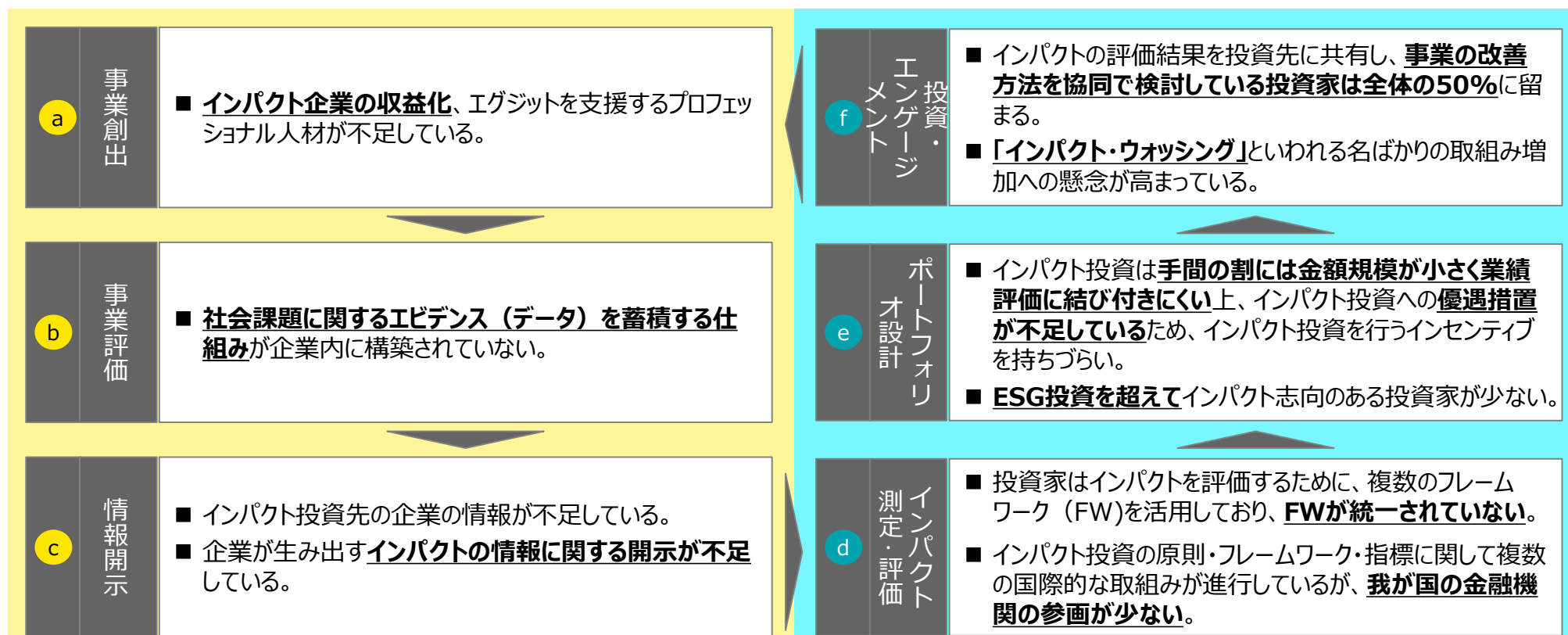
Image

3. アジェンダ2.インパクト投資の現状・課題及び本研究会で対象とする製品・サービスについて

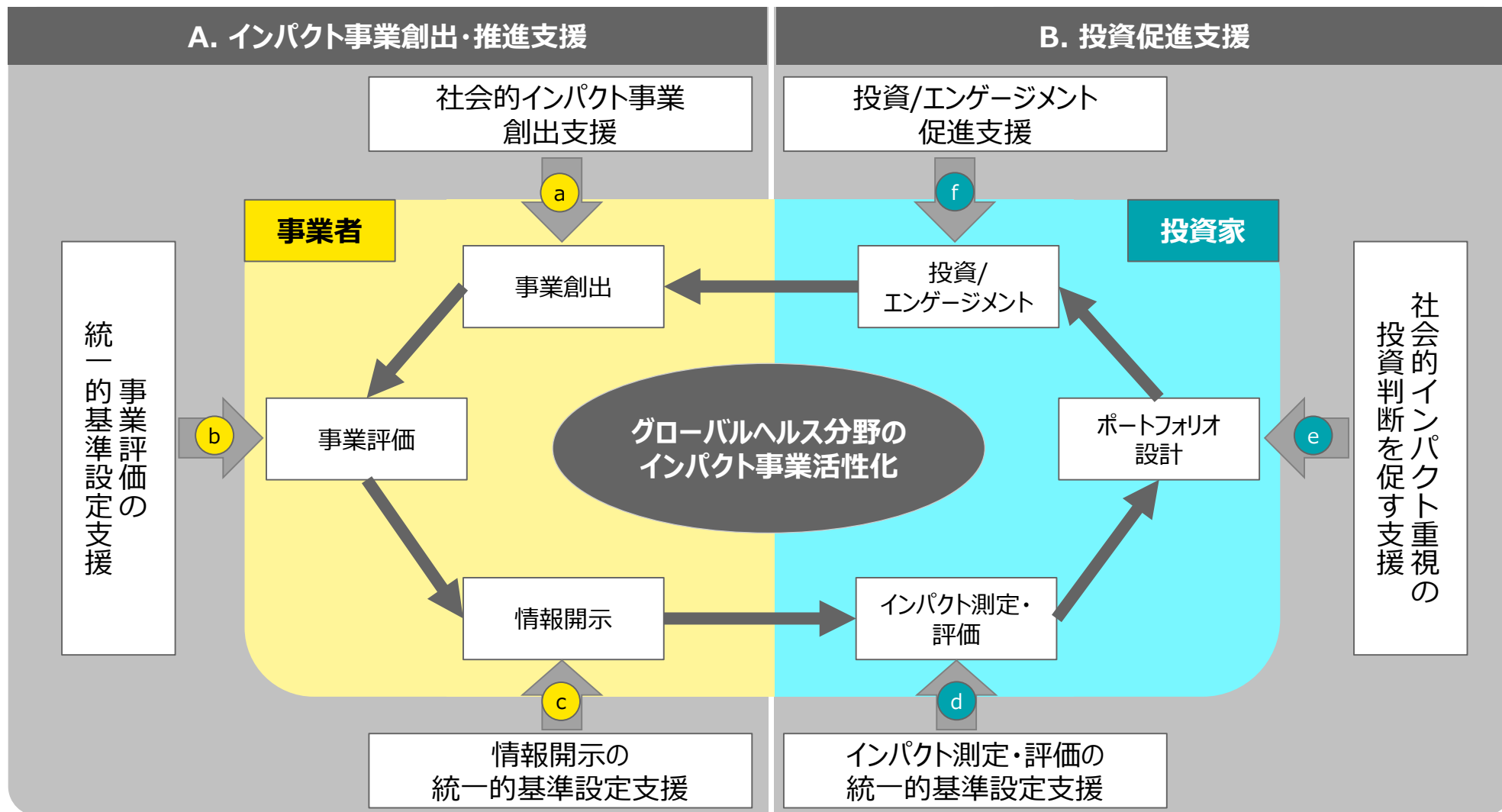
公開資料を基に、現時点で言及されているインパクト投資の現状・問題意識を整理した。論点を参考にインパクト投資の現状・課題に関する意見を広くa~fの観点からコメント頂きたい。

論点	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各委員の立場から見て重要だと思われるインパクト投資を取り巻く現状・課題は何か 2. 世界と比べて日本に特有のインパクト投資の課題は何か 3. GH分野に特有のインパクト投資の課題は何か
----	---

各種公開資料を基に抽出したインパクト投資の現状・問題意識



(参考資料) インパクト投資の現状・課題に関する意見交換を行うにあたり、事業者側/投資家側のそれぞれの活動と関連付けて整理する想定であり、幅広いご意見を伺いたい。

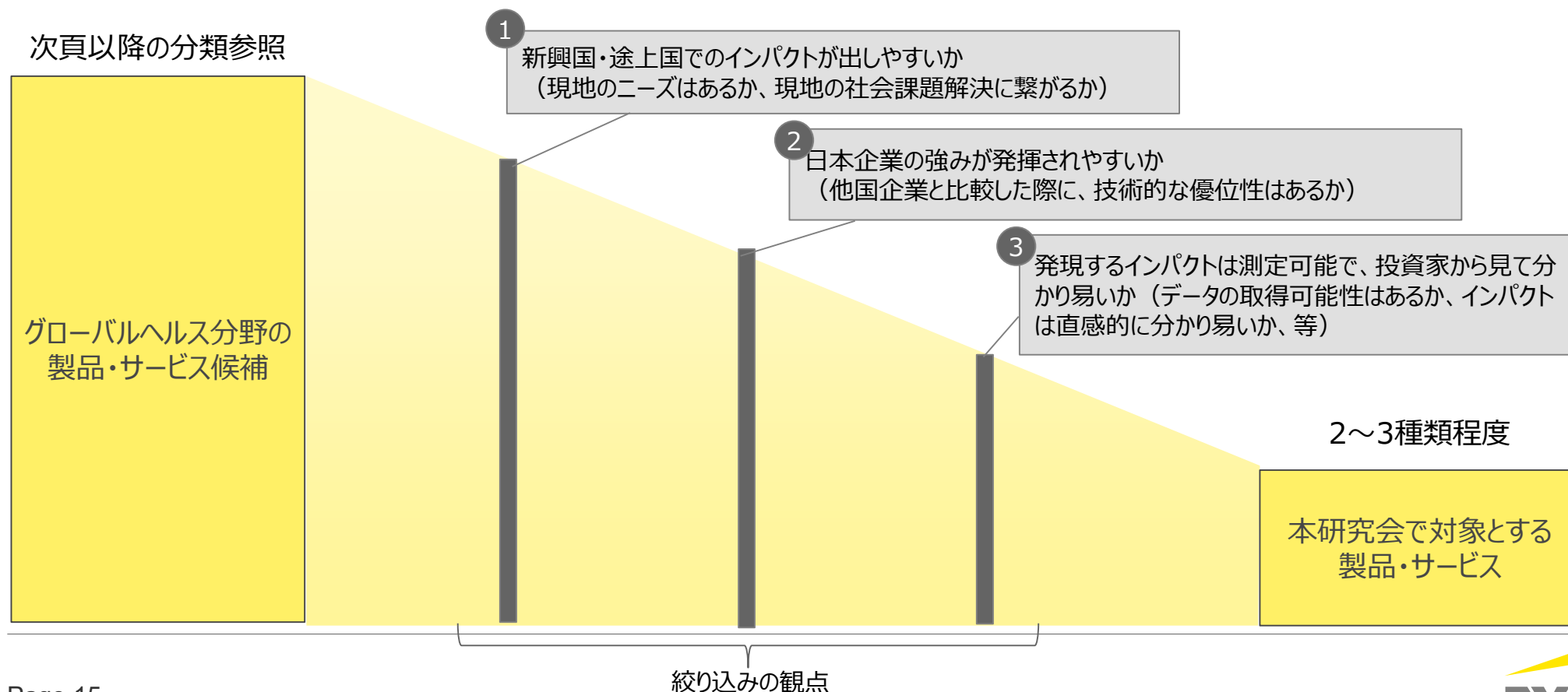


多岐に亘るGH分野の製品・サービスの中から、本研究会で対象とする製品・サービスカテゴリーを抽出する。本日は、絞り込みのアプローチに関する合意と対象となる製品・サービスカテゴリーの候補を挙げる。

論点

- インパクト投資を通じて日本企業が途上国・新興国にインパクトをもたらす潜在性を有した製品・サービスカテゴリーの絞り込み方法として、下記アプローチは適切か
- 次頁の製品・サービスカテゴリーから、大よそ候補となるカテゴリーはどれに絞られるか

本研究会で対象とする製品・サービスカテゴリーの絞り込みイメージ



GH分野の対象となり得る製品・サービスカテゴリーを各社HPや提言書・報告書を基に整理した。 これらのカテゴリーを中心に、本研究会の第2・3回研究会で詳しく検討する対象を選択する。

前提

- 第2・3回の研究会では、第1回研究会で抽出した製品・サービスカテゴリー（例えば、製薬・医薬品）のグローバルの事例やロジックモデル案を踏まえた現状・課題の整理や特有のインパクト発現方法について討議をする。

予防・健康増進

治療

医療機関・企業	遠隔診療（オンライン診療）	電子カルテ
	法人健康管理（健康経営）	データ分析（医療画像分析・AI支援）
	健康相談サービス	医療関連物資輸送
患者・消費者	在宅医療・介護	研究支援（ゲノム編集・解析等）
	健康・栄養食品	製薬・医薬品（ワクチン含む）
	検査サービス	医療機器
	フィットネス	治療支援（PHR = Personal Health Record）
	メンタルヘルス	病院検索・医師検索サービス
	衛生用品	